

■西岡常一 宮大工。幅広い知識と本格的な腕を持った最後の棟梁として、法隆寺・法輪寺・薬師寺を修理・再建した。

にしおかっけかず

アララギ 創刊・1908＝ 奈良県生駒郡法隆寺村西里(斑鳩町)で、法隆寺累代棟梁西岡家三代棟梁檜光の長子に生まれる。

明治天皇没・1912＝ 4歳：

21ヶ条要求・1915＝ 7歳：斑鳩尋常小学校に入学。

ロシア革命・1917＝ 9歳：この頃から、夏休みには仕事場で、祖父常吉に厳しく鍛えられる。

原敬首相暗殺1921＝13歳：祖父の意見で、生駒農学校に入学。
土壌・肥料・林業・家畜など全般にわたり学習、のちに大きく役立つことになる。

護憲三派圧勝1924＝16歳：生駒農学校を卒業、祖父を師として法隆寺大工見習いの傍ら、農地も耕作。

円本時代始・1926＝18歳：

共産党事件・1928＝20歳：宮繕大工として認められる。
世界恐慌・1929＝21歳：兵役に出、看護学を学び、上等兵となる。
海軍軍縮条約1930＝22歳：除隊、予備役編入。法隆寺の末寺の修理にあたる。
満州事変・1931＝23歳：樺原神宮拝殿の新築工事で父の代理棟梁になる。法隆寺五重塔1/10学術模型を製作(現存)。
五一五事件・1932＝24歳：大演習があつて、一時応召される。
国際連盟脱退1933＝25歳：洛北鞍馬寺本堂増築に参加。法隆寺昭和大修理のため、実測して修理設計を行う。
帝人疑獄事件1934＝26歳：結婚。*地下溝発掘などの力量が認められ、初めて棟梁として法隆寺東院修理にあたる。
芥川直木賞始1935＝27歳：

日中戦争始・1937＝29歳：引き続き法隆寺各部の修理にあたるが、戦局が進み、何度も応召・解除を繰返し、

日米開戦・1941＝33歳：

年金+総武装 1944＝36歳：
敗戦・1945＝37歳：朝鮮の木甫で、衛生曹長として終戦を迎え、帰郷して、法隆寺の修理を続ける。

朝鮮戦争始・1950＝42歳：肺結核のため病臥。
独立回復・1951＝43歳：
マデラ事件・1952＝44歳：回復して、再び修理を続ける。
TV放送始・1953＝45歳：
自衛隊発足・1954＝46歳：法隆寺昭和大修理が一段落し、

国連加盟・1956＝48歳：*新発足の法隆寺文化財保存事務所技師代理から、技師となる。

美智子妃・1959＝51歳：広島県福山の明王院大修理、さらに鳥取県大仙院本尊厨子の修理にあたる。
安保闘争・1960＝52歳：

全国総合計画1962＝54歳：

東京リボルブ 1964＝56歳：再び、法隆寺各部の修理にあたる。
大学紛争始・1965＝57歳：法輪寺三重塔の再建設計を行い、
いざなぎ景気1966＝58歳：修学旅行できていた小川三夫が弟子入りしたいと飛び込んできた。
美濃部都知事1967＝59歳：小川の熱心さに打たれ、彼を弟子にする。法輪寺三重塔再建工事に着手。

大阪万博・1970＝62歳：法輪寺三重塔初重が完了。奈良県文化賞。
トルジョック・1971＝63歳：薬師寺金堂再建設計を行い、工事に着手。

石油ショック 1973＝65歳：法輪寺三重塔再建にも再着工。
角栄金脈辞任1974＝66歳：父子で吉川英治文化賞を受賞。
クアランゴール事件1975＝67歳：法輪寺三重塔落慶法要。
田中角栄逮捕1976＝68歳：薬師寺金堂落慶法要。紫綬褒章。
JALハイジャック 1977＝69歳：胃がんのため一時入院。弟子の小川が棟梁として独立。時事文化賞。文化財保存技術保持者に指定され、現代の名工として表彰される。薬師寺西塔再建工事に着手。

貿易摩擦問題1980＝72歳：
1981＝73歳：*薬師寺西塔落慶法要。勲四等瑞宝章。日本建築学会賞。共著「法隆寺」でサンケイ児童出版文化賞。
中曽根内閣・1982＝74歳：薬師寺中門再建工事に着手。

1984＝76歳：薬師寺中門落慶法要。
ジャコ機墜落1985＝77歳：薬師寺三蔵新伽藍造営にあたる。

昭和天皇没・1989＝81歳：
ドイツ統一・1990＝82歳：脳こうそくで倒れるが復帰。日本キワニス文化賞。
ソ連崩壊・1991＝83歳：みどりの文化賞。
バブル崩壊・1992＝84歳：文化功労者。
わか事件・1995＝87歳：没した。

西岡常一・青山茂「斑鳩の匠・宮大工三代」,